

台所は、火と水が中心。「汚」として、むかしからきらわれていた。台所の位置は真鬼門を避ける。その理由は、湿気。換気を解決すればよい。

浴室も湿気を呼ぶので要注意。湿気その他、臭いもあるので空気の流通（換気）を良くして乾燥させることで解決することが重要。

最近では、冷暖房器が発達してきたが、室内を密閉状態にするのはダメ。ナイオンと匂い（建材の臭いをはじめ、あらゆる臭いが化学反応を起こす）がたまるので、せっかく良い家相でも凶相になってしまう。

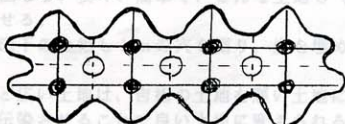
鬼門を喜門にするためには空気、採光、火、水（湿気含）の4要素に配慮すること。

西側に台所を設けると、西陽が食品に当たり、良くないし、南側に子供部屋を設けるとイライラし、おちつきのない子に育つ。また南側に天窓を設けると日差しが強く、目が悪くなる。

3 土地相 《甦る土地の秘伝》

土地相について科学的に取り組んだ方が楢崎卓月さん。この方は人造石油を日本で初めて作った人でもある。土地の不思議を発見したのは同一条件で農産物を生産してもA地区、B地区、C地区でそれぞれ異なり、ある地区では農機具が故障したり、職人や農夫が病気をしたり、生産物のバラツキが生じたりした。そこで、星製菓の星社長（作家・星新一氏の父）が投資協力し、日本の土地を調べ、ある結論が出た。それに基づいて生産すると生産量が増え、害虫がいなくなり、良い成果が出た。近代日本の農法の先駆者である。

その「ある結論」とは、



山と山の稜線を結んだ土地が良く（●印）

谷と谷を結んだ土地がよくない（○印）ということが判明した。

この伝えでいくと、全国の神社は、良い土地相のところに建っている。お寺は全国的には殆どよいところに、あとは、ほどほどの所にある。

現代の科学でいうと、良い土地は必ずマイナスイオンが発生し、湿気もなく、空気の流れ、採光も良く、自然条件が良い。

家の敷地内に、いちじく、びわ、ざくろなどを植えると、湿気を呼ぶ木とされ、むかしから病人が多く出たといわれている。（プラスイオンも発生する）

（人間の体内の70%は水分である）

また、ソテツという木は、その家の金を食って生きると言われ、破産に追い込まれるともいわれていた。